

令和5年度 小金井市立小金井第二中学校 授業改善推進プラン

1 授業改善の方針

○生徒一人一台の ICT 端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を
実践することで、生徒主体の深い学びを実現させる。

2 児童の現状分析

(1) 全国学力・学習状況調査

国語	○すべての設問において都平均、全国平均を上回った。特に「書くこと」の項目で大きく平均を上回っている。一方で知識及び技能における項目は他分野と比較して正答率が低い。
数学	○すべての設問において都平均、全国平均を大きく上回る結果となったが、データの活用においては他分野と比較して正答率が低かった。

(2) 児童・保護者・教職員アンケート

○指示された課題には取り組むことができると回答した生徒は多いが、自ら課題を設定し、粘り強く解決しようとする姿勢は不足している。

3 各教科等における授業改善の視点

国語	○個の実態に合わせ、学習課題や手段を提示したうえで、個の学びの充実を図る。また、ICT 機器を活用し、協働学習を充実させ、個の学びをさらに深化させる。
社会	○学習者用端末を効果的に活用し、根拠に基づいて自分の意見や考え方を伝え合い、自分や他者の意見や考え方を発展させたり、合意形成に向かおうとしたりする力を高める。
数学	○ICT 機器の活用を通して、章末レポートや単元のまとめに実施した自作問題作りなどを他者と共有することで、学習の個性化を充実させる。
理科	○ICT 機器を活用し、各自の考えを交流させる活動を充実させるとともに、学習を通じた個々の変容を振り返る機会も併せて充実させることで、自己肯定感を高める。
外国語	○デジタル教科書の効果的な利用を促すための、単元内・学期ごとの到達目標達成に向けた活動リストや評価基（規）準の共有を行い、生徒の主体性を引き出す指導の工夫
音楽	○ICT 機器を活用し、創作活動を容易にし、工夫して表現する能力を高める。 ○作品を発表する活動を充実させ、協働的な学びを深めることができるよう指導する。
美術	○ICT 機器を活用し、資料の収集を容易にし、自らの主題を表現する時間を確保する。 ○各自の考えを交流させる活動を充実させることで、学習を調整する姿勢を育む。
技術 家庭	○実習の進め方を確認する際に ICT 端末を活用し、一人一人が自分のタイミングで映像を見て確認できる形をとり、自信をもって手を動かせるように指導する。
保健 体育	○ICT 機器を活用し、各自の動きを客観的にとらえ、映像から見えてきた課題を解決するための方法を考え、実践させることで、主体的に学ぶ姿勢を育む。
道徳	○ICT 機器を活用することで、個の考えを全体で共有し、協働的な学びのなかで、広い視野を養っていく。
総合	○「良き社会人」育成に向けた3年間を通じた系統的なキャリア教育の推進 ○SDGs等の地球規模の課題に関して「自分事化」していくための探究型学習の推進